

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
保育研究（生活・環境）		小原 伸子	講義	2	後期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	幼稚園教諭二種免許選択 保育士資格選択必修			
学習目標	保育の現場において「環境を通して行う教育」を実践する能力を高めるために、 1. 子どもの学びの連続性の重要性に関する理解を深める。 2. 子どもを取り巻く自然や社会に関する具体的な実践内容を学ぶ。 3. 「環境を通して行う教育」における保育者の関わり方を学ぶ。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	子どもの生活と環境	「環境を通して行う教育」の意味			
2	学びの連続性（1）	幼児及び低学年の子どもの特徴			
3	学びの連続性（2）	生活科教育について、生活科の目標と内容			
4	自然に関する内容と実践（1）	季節の変化と生活			
5	自然に関する内容と実践（2）	自然や物を使った遊び			
6	自然に関する内容と実践（3）	動植物の飼育・栽培			
7	社会に関する内容と実践（1）	園（学校）・家庭・地域の人々と子どもの関わり			
8	社会に関する内容と実践（2）	同上			
9	探検活動（1）	探検マップの作成			
10	探検活動（2）	探検マップを用いた実践			
11	自分の成長を振り返る	自分の良さや可能性に気づかせる実践			
12	模擬保育準備	「環境を通して行う教育」を意図した保育計画の立案			
13	模擬保育発表（1）	グループごとの模擬保育発表および講評			
14	模擬保育発表（2）	同上			
15	幼小連携について	幼小連携事例に関する DVD 視聴とディスカッション			
参 考 書	文部科学省「小学校学習指導要領解説 生活編」日本文教出版 2008 田尻由美子・無藤隆編「保育内容 子どもと環境—基本と実践事例」同文書院 2006				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	グループでの討議・発表を適宜とり入れるので、討議・発表に向けての準備（授業時間外での自己学習）を含め、積極的に参加すること。				
評価の方法と時期	グループ討議・発表への参加状況、出席状況および期末レポートで総合的に判定する。				